

DYNAC

株式会社ダイナックホールディングス

証券コード：2675

2020年12月期 第2四半期 決算説明資料

2020年8月7日

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

1

2020年12月期 第2四半期 決算説明

2

今後の取組み

3

2020年12月期 通期業績予想

2月に感染症対策本部を設置。お客様・従業員の安全を最優先に、従業員の雇用を守りつつ、行政の要請に従い店舗臨時休業等を実施。

6月1日より順次全店の営業を再開。

**ダイナック
(直営ビジネス)
バー・レストラン**

4月6日

全国158店舗を休業
その他の店舗は営業時間の短縮を実施

4月9日

休業店舗を165店舗に拡大し、休業期間を延長

5月4日

緊急事態宣言延長を受け、5月末まで休業期間を延長

5月18日

段階的に店舗営業再開に向けたテスト運営開始

6月1日以降順次、各自治体が要請する営業時間に従い、全店の営業を再開（一部除く）

**ダイナック
パートナーズ
(受託ビジネス)
ゴルフクラブレストラン
道の駅、PA/SA等**

感染防止対策を徹底し、一部店舗では営業時間を短縮し営業

5月6日

ゴルフクラブ等の施設の臨時休業等に伴い26店が休業

6月1日以降順次、各自治体が要請する営業時間に従い、全店の営業を再開（一部除く）

既存店売上高前年比

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	2Q 累計	(%)
ダイナック グループ	合計	101.1	95.2	56.1	16.4	14.9	43.1	51.9	
	直営ビジネス								
	バー・ レストラン	102.9	88.6	47.0	2.8	0.6	32.8	44.2	
受託ビジネス	ゴルフクラブ レストラン	102.4	124.6	82.2	42.1	36.5	64.1	66.3	
	道の駅	104.1	106.1	82.3	62.7	70.9	79.9	77.2	
	PA/SA	95.6	92.3	53.8	23.5	21.7	49.8	62.8	
(ご参考) JF (日本フード サービス協会)	パブレストラン・ 居酒屋	101.0	94.5	56.7	8.6	10.0	39.9		

- ・2月中旬以降、バー・レストラン事業にて新型コロナウイルスによる影響が顕在化
- ・3月以降、感染拡大に伴う外出・移動自粛やイベント中止により、PA/SA事業等に影響が拡大
- ・4月以降、政府からの緊急事態宣言の発出を受け、臨時休業等により、各事業で著しく減収
- ・6月以降、緊急事態宣言解除を受け、全店順次営業再開するも、回復は鈍い

※百万未満切捨て
(百万円、%)

	'20年12月期 第2Q実績	'19年12月期 第2Q実績	増減	前期比
売上高	9,365	18,048	(8,683)	51.9
営業損益	△2,918	△145	(2,773)	-
経常損益	△3,023	△42	(2,980)	-
親会社株主に 帰属する 四半期純損益	△4,645	△160	(4,485)	-

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各段階利益にて大幅な損失
- 緊急事態宣言に伴う臨時休業による特別損失約15億円を計上

'20年12月期 第2Q決算ハイライト - 連結損益計算書

(百万円、%)

	前年		当年		増減	前期比
	実績	構成比	実績	構成比		
売上高	18,048	100.0	9,365	100.0	(8,683)	51.9
売上原価	16,114	89.3	10,558	112.7	5,555	65.5
売上総利益	1,934	10.7	△ 1,193	△ 12.7	(3,127)	-
販売管理費	2,079	11.5	1,725	18.4	354	83.0
営業損益	△ 145	△ 0.8	△ 2,918	△ 31.2	(2,773)	-
営業外収支	102	0.6	△ 104	△ 1.1	(206)	-
経常損益	△ 42	△ 0.2	△ 3,023	△ 32.3	(2,980)	-
特別損益	△ 89	△ 0.5	△ 1,220	△ 13.0	(1,131)	-
税引前四半期純損益	△ 132	△ 0.7	△ 4,243	△ 45.3	(4,111)	-
法人税等	27	0.1	402	4.3	(374)	1,488.9
四半期純損益	△ 160	△ 0.9	△ 4,645	△ 49.6	(4,485)	-

主な増減要因

- **販売管理費**
 - 販促費等の減
 - 出店・業態変更に伴う一時費用の減
- **営業外収支**
 - 持分法投資損失
 - 店舗に関わる営業補償金受入の減
- **特別損益**
 - 雇用調整助成金等の収入
 - 臨時休業による損失
 - 一部店舗に係る減損損失
- **法人税等**
 - 繰延税金資産の取り崩し

'20年12月期 第2Q決算ハイライト - 連結貸借対照表

(百万円)	'19年 12月末	'20年 6月末	増減
流動資産	3,982	2,986	-955
固定資産	10,870	9,735	-1,134
有形固定資産	5,001	4,680	-321
無形固定資産	211	182	-29
投資その他の資産	5,657	4,873	-784
敷金保証金	4,366	4,117	-249
その他	1,291	756	-535
資産合計	14,852	12,722	-2,130
負債	10,706	13,261	2,555
流動負債	8,412	9,430	1,017
固定負債	2,293	3,830	1,537
純資産合計	4,146	△539	-4,688
負債・純資産合計	14,852	12,722	-2,130

主な増減要因

● 流動資産

- 売掛金の減少 (- 1,432)
- 未収入金の減少 (+ 427)

● 固定資産

- 繰延税金資産の減少 (- 346)
- 敷金保証金の減少 (- 249)
- 建物及び構築物の減少 (- 238)
- 投資有価証券の減少 (- 165)

● 負債

- 借入金の増加 (+ 6,220)
- 買掛金の減少 (- 2,133)
- 未払費用の減少 (- 676)
- 未払消費税の減少 (- 550)

● 純資産

- 利益剰余金の減少 (- 4,688)

1

2020年12月期 第2四半期 決算説明

2

今後の取組み

3

2020年12月期 通期業績予想

業界ガイドラインを徹底順守 + 独自のダイナックルール策定 お客様・従業員の安全・安心を確保しながら事業を運営

業界ガイドラインの徹底順守

感染防止徹底宣言

新型コロナウイルス
感染拡大防止中

東京都

やってまっせ！感染症対策

No.0000

当店は感染症対策として
**新型コロナウイルス感染症
防止ガイドライン**
を遵守しています。

※店名を表示

大阪府

安心して来てや！

ダイナックルールの徹底順守

新型コロナウイルス感染症予防の取組みについて

お客様及び従業員の感染リスクを軽減することで、お客様に安心して食事いただける環境を提供するために以下の対応を実施しております。

- 従業員は、毎日体調確認を実施し、体調不良者のいない職場環境の維持に努めます
- 感染予防・拡大防止のため、従業員はマスクを着用しております
※体調不良による着用ではございませんのでご安心ください。
- 殺菌消毒用のアルコールを設置しています
手指の消毒にご協力ください
- お客様・従業員が顔球に触れる場所の消毒を徹底しております
- お客様同士の距離をとるため、席の間隔を空けてご案内しております

《お客様へのお願い》

お客様のご協力のもと、安全を積重ねてまいります。
感染防止にご協力ください。

1. 発熱や咳など体調不良があるお客様はご来店をお控えください。
2. 手洗い・アルコール消毒にご協力ください。
3. 食事中以外のマスク着用、咳エチケットにご協力ください。
4. お客様同士の距離の確保をお願いします。
5. お酌やグラスなどの回し飲みはご遠慮ください。
6. 大声を出す、騒ぐなどの行為は控えていただくようお願いいたします。

お客様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます

足元の非常事態対応を着実に進め、今後の収益力回復を見据えた構造改革に着手

非常事態への対応

手元流動性の確保

当座借越契約の約100億円とは別枠で約50億円の借入を実施

賃料減額交渉の継続

グループ全体において賃料減額を賃貸主に継続依頼

固定費の削減

間接部門・各種費用を徹底的に見直すことでコストを圧縮

不採算店舗の閉店

回復が見込めない直営店舗を早期閉店予定（全店舗の1割程度）

採用抑制

経験者採用・パートナー新規採用を原則停止

役員報酬の減額

月額報酬の10～20%相当を自主返上

構造改革の推進

ダイナック
（直営ビジネス）

【ウイズコロナ対応力を有する既存店の営業力強化】
平常時の70%集客でも耐えきれぬ店舗運営へ変革

ダイナック
パートナーズ
（受託ビジネス）

【成長分野への経営資源の投下】
回復が早く投資効率の高いゴルフクラブレストランの拡大

新しい生活様式に対応し、 平常時の70%集客でも耐えられる店舗運営へ変革

社会構造の変化に対応した営業戦略の見直しを行うとともに、店舗インフラを整備し生産性を向上させる

主な施策

- 1 テイクアウト・デリバリー・通販導入店舗の拡大
- 2 少人数・カジュアル・パーソナル動機の取り込み
- 3 倶楽部ダイナックによる常連様づくりの深耕
- 4 デジタル活用、省人オペレーションの追求

人気の海鮮丼に続き、アップーブランドのテイクアウト開始

人気の海鮮丼のテイクアウト



アップーブランドのテイクアウト



女性・少人数もターゲットにした業態、メニュー展開

チーズ女子ターゲット



good spoon pizzeria&cheese 横浜モアーズ店

- カームデザイン社との共同取り組み 1号店
- パパミラノをカーム社のヒット業態「good spoon」のエクステンション業態に変更 ('20.3.6)



#伸び過ぎる自家製チーズ

少人数対象のアップーディナー



記念日・誕生日での
カップル・ファミリー層でのディナー
コース需要を訴求

セパレート提供など「個」で安心して楽しめるメニュー開発



宴会コースメニューの大皿盛り
→銘々盛りスタート



倶楽部ダイナックの顧客基盤をフル活用

途切れのないプロモーション・キャンペーンを展開し、
倶楽部ダイナック会員がよりお店に来たくなる施策を強化



キャンペーン期間 2020年9月30日(水)まで

おかげさまで**20周年**



デジタル活用で店舗運営の最適化を図る



● 最新型POSシステムの導入完了

● シフト作成システムの導入

● セルフオーダーシステムの導入

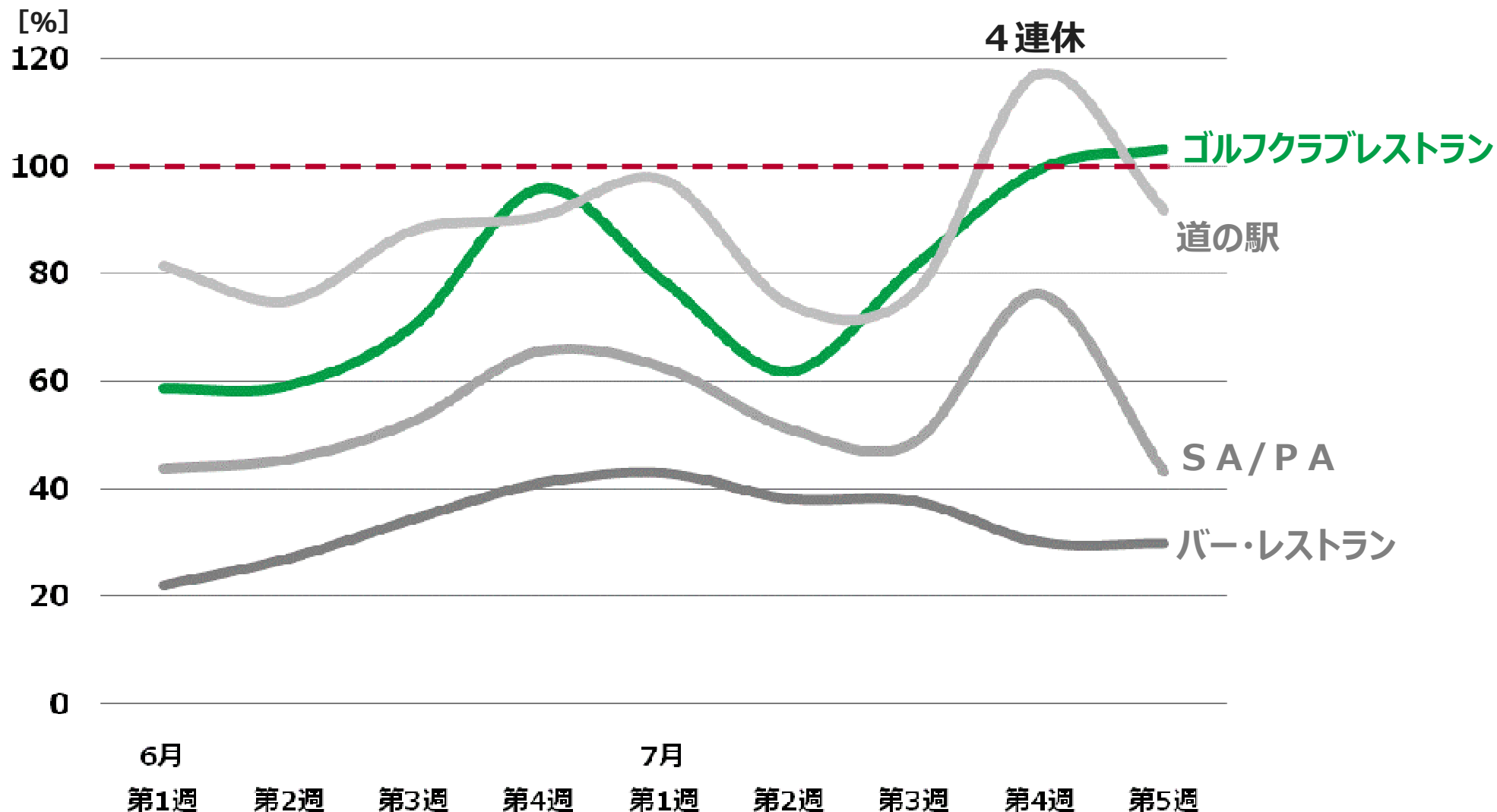
● 予約、仕入れ、発注等システム上で一元管理

● モバイル決済・キャッシュレス対応

● CRM強化

● 教育動画配信、情報共有プラットフォーム

回復が早いゴルフクラブレストラン（週別既存店前年比）



ゴルフクラブレストランは前年並みまで回復

回復が早く投資効率の高いゴルフクラブレストランを拡大 営業体制を強化し出店を年5場ペースから10場へ倍増させる

日本No.1の
ゴルフクラブレストラン運営会社
を目指して着実に案件を獲得

2020年12月期

すでに**5場獲得済**

74場

2019年12月期

79場

2020年12月期見込

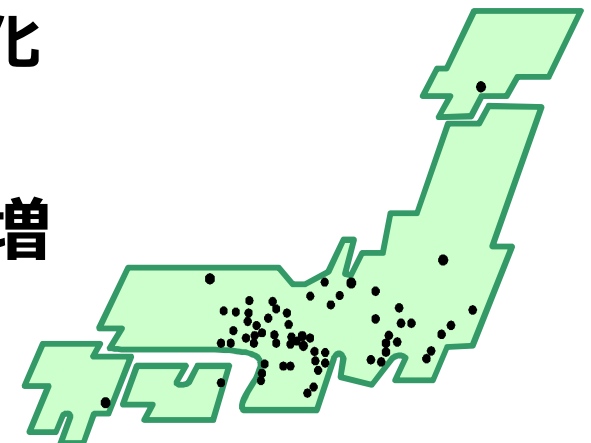


人材、経営リソースを注入
営業体制を強化

獲得件数倍増

目標
100場

2022年12月期目標



1

2020年12月期 第2四半期 決算説明

2

今後の取組み

3

2020年12月期 通期業績予想

通期業績予想（未定）

2020年12月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響の不確実性が高く、未定としております。今後、連結業績予想を合理的に算定することが可能となった時点で、速やかに開示する予定です。

配当予想（無配）

通期におきましても大変厳しい業績見通しとなることを踏まえ、現時点においては事業継続のための運転資金を確保すると同時に、収益力の回復に向けた財務基盤の安定化が最重要課題であると考え、誠に遺憾ではございますが、第2四半期末及び期末の配当予想を無配とさせていただきます。

企業理念

食の楽しさを、

ダイナミックにクリエイトする

それが私たちの仕事です



本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

株式会社ダイナックホールディングス
東京都新宿区新宿1-8-1
TEL (03) 3341-4216
<https://www.dynac.co.jp>